

「日々の理科」(第 2924 号) 2022, -8, -9

「森のアスレチック (追加)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

山荘の裏に造ったアスレチックのうち、「ターザンロープ」がイマイチだった。実際に自分で乗ってみると、やはり幹にぶつかってあぶない。これで終わるわけにはいかないのので、「追加」となった。



そこで、カラマツの樹 2 本に、登山用のザイルを渡して、「動くターザンブランコ」を造ってみた。



体を支えるのは、先日造った「森のブランコ」と同じものだ。市販品では珍しく、鎖での懸垂なので、非常に丈夫で、長さの調節も容易だ。黄色い部分は、「指はさみ」など怪我防止の為、ゴムで覆われている。



山荘にあった滑車を利用した。本来は遊具用ではないが、それでも耐荷重は 200kg なので、私が試しても大丈夫だった。子どもなら安全だろう。



ターザンロープの場合、ロープをいかに強く張るかが重要だ。そこには、ラチェット式の巻き上げ機を使用した。これも耐荷重は 300kg の優れたものだ。



「搭乗口」には「水平脚立」を使うことにした。これで、少し手伝ってあげれば、小さな子どもでも乗ることができる。私は何度か試してみたが、この高さでもスタートは結構スリルがある。昔やっていた「パラグライダー」と似た感覚で、非常に面白かった。